

杉の秀

学校教育目標
ふるさとを愛し、夢に向かって自ら学び、
心ゆたかでたくましく伸びる「中原っ子」の育成

後期スタート

10月12日（火）秋休み明けに全校児童が登校し、後期スタートの始業式を実施することができました。

始業式では、後期も「目標をしっかり立て、学校生活を充実したものにしたい」と話しました。また、～3つのする～「あいさつする」「なかよくする」「かんしゃする」も続けて全校で取り組んでいこうと約束しました。

そして、6名の代表の子どもたちも、それぞれの目標を全校児童の前で立派に発表することができていました。一人一人が目標をもって日々の学校生活を送ってほしいと思います。ご家庭でも子どもたちの目標について話題にいただければ幸いです。

冬休みまでの第3ステージ（登校52日）を中原小学校全員で充実したものにしていきたいと考えています。



ヒンメリづくり体験

10月3日（月）に、「ヒンメリ」づくり体験が行われました。

ヒンメリとは、北欧生まれの麦藁を材料にした装飾品のことだそうです。6月に麦刈り体験を実施したときの麦藁（乾燥していただきました）を使って、「ナカバルつくる会」の皆さんにヒンメリ制作の指導をしていただきました。2校時～4校時で低・中・高学年ごとに作っていきました。

はじめて、麦藁を使った工作を体験した子どもたちでしたが、麦藁を切ったり、ひもでつなぎ合わせたりしながら立派な作品を作り上げていました。できた作品の一部は、玄関フロアにナカバルつくる会で設置していただき展示しています。来校の際は、ぜひご覧ください。

麦刈り体験から、ヒンメリつくりと、色々な体験を用意していただいた、ナカバルつくる会の皆様に感謝いたします。



全校児童で見学旅行

10月14日（金）に中原小学校全校児童で、熊本城や熊本市博物館に見学旅行に行きました。当日は、天候にも恵まれ絶好の見学旅行日和となりました。

1年生から6年生までが全員で同じ所に見学に行って、みんなで同じ体験や学習ができるのは中原小学校ならではのようです。見学するときは、縦割り班編制（1年生から6年生が一緒になった班）で行動して他学年と交流する機会にもなったようです。さらに中原小学校のチームワークが深まったのではないのでしょうか。残念ながら見学旅行当日、私は学校で留守番でした。



実りの秋に感謝

10月13日（木）に稲刈り、10月20日（木）にイモ掘りの体験活動ができました。緑の少年団活動として5月に芋の苗植えと、田植えをしていたものが、収穫の時期となり、全校児童で実りの秋に感謝しながら稲を刈りとり、イモ掘りをしたりと貴重な体験をすることができました。5月の学校だよりでも紹介しましたが、このような貴重な体験ができるのも、「畑や田んぼを貸していただいたり」、「事前の準備をしていただいたり」、「植え方や収穫の方法を教えていただいたり」と多くの地域の方々のバックアップあってのことだと感謝しております。子どもたちも収穫の喜びとともに、地域の皆様方のご支援に感謝して実りの秋を感じていると思います。



銀杏の実の収穫がんばっています

校庭の大イチョウから、たくさんの黄色い実が落ちてきました。毎年恒例の全校児童での銀杏の実拾いが始まりました。10月中旬からの朝の時間に始めた活動で多くの銀杏の実が収穫できています。子どもたちは、ぎんなんの実の独特の匂いには慣れないと言いつつも、朝から元気に活動を続けています。これも中原小学校の伝統の一つとして大切にしていきたいと思っています。

11月12日（土）の「ぎんなん祭」にて向けて準備を進めています。



今月の一枚フォト



花壇の花を子どもたちが緑の少年団活動で植えかえました。パンジー、ノースポールを植えました。